

# 「なるほど人権セミナー」を終えて

📍生涯学習課人権・同和教育係 ☎0943-32-0093

## 3年ぶりの開催

7月に実施された「同和問題啓発強調月間」の啓発事業の一環として、3年ぶりに「なるほど人権セミナー」が開催されました。状況を考慮し、人数を制限した中での開催となりましたが、全3回の講座で約180人が参加し、実りのあるセミナーになりました。今回は、全講座の概要と参加者の声を紹介します。

### 第1回

#### 「ケガレ意識（中世起源説）を通して考える同和問題」



講師：秋永剛 氏  
(久留米市啓発・研修講師団)

中世・江戸時代における「ケガレ意識と差別」について、具体的な資料を基に講義が行われました。

現代の日常生活の中にも、差別につながる「ケガレ意識」が存在しており、まずは、それに気づくことが重要です。

### 〈参加者の声〉

▼自分では意識していない部分で、実は差別につながるケガレ意識を持っていることに気づかされました。

▼ケガレ意識は過去のものではなく、今でも私たちの生活の中で、身近なものとして存在することを認識することができました。

### 第2回

#### 「差別や偏見をなくす当事者になる」



講師：牛島修彦 氏  
(筑後地区人権・同和教育研究協議会 副会長)

「部落差別とは場所や時代人を選ばないものであり、世代を超えて存在するものである」という事実を踏まえ、具体的な事例を通して講義が進みました。

「知らないから広がる」ということを認識し、一人ひとりが、今後どのように差別に向き合うべきか考えることが大切です。日ごろから、人権

感覚を高めることを意識し、気づく力を身につけましょう。気づいたら発言することが社会変革への一歩になります。

### 〈参加者の声〉

▼改善するべきものがあるとしたら、それは差別を受け側ではなく、社会や私たち自身だと思いました。

▼何気なく過ごしている日常の中に、たくさん差別があることを知りました。それに気づく感性を持ち続けられるように、研修が必要だと思えます。

▼「おかしい」と思ったときに「おかしい」と、しっかりと言える自分でありたいと強く思いました。

### 第3回

#### 「差別のない社会をめざして」



講師：藤原英記 氏  
(福岡県教育庁南筑後教育事務所 主任指導主事)

「人権」とは、人が生まれながらに有する、幸福な人生

を追求するうえで必要不可欠な権利です。これは、日本国憲法の下で全国民に保障されている権利であり、何人もこれを侵すことはできません。

第2回目の講義でも取り上げられたテーマですが「おかしいと感じたことをきちんと指摘できること」が、結果的に自分の人権を守ることに繋がります。

### 〈参加者の声〉

▼「インターネットでの差別」や「落書きによる差別」の話聞き、不安な気持ちで過ごしている人がいることに気づくことができました。被害者の人たちの苦悩を考えると、胸が痛くなります。差別のない社会を実現するために、正しい知識と正しい人権感覚を持ち続けたいと思います。

### 人権を考える「ひろかわ」セミナーを開催します！

▶日程 11月10日(木)、16日(火)、22日(火)

たくさんのご参加をお待ちしています。

※12月3日(土)に、「心をつなぐ『ひろかわ』の集い」を企画中です。

学力・学習状況  
調査結果

# 学校教育

子ども課学校教育係 ☎ 0943-32-0093

図1 標準化得点の比較 (小学6年生)

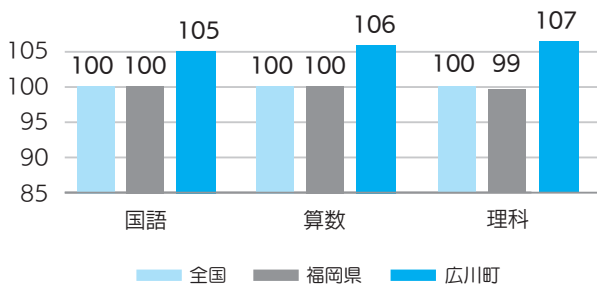
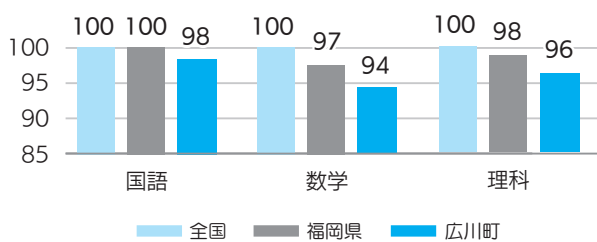


図2 標準化得点の比較 (中学3年生)



※標準化得点は、国が示した計算方法で算出しています。

## 学力調査

4月19日(火)、文部科学省が全国の公立学校の小学6年生と中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を行いました。7月27日(水)に調査結果が公表されたので、広川町の結果をお知らせします。

小学校・中学校ともに、国語と算数(数学)、理科の3教科で調査されました。結果は平均正答数を100としたときの平均得点(標準化得点)で表されています(図1、図2参照)。

小学校の結果は、平成25年度調査から安定した状況にあります。標準化得点で見ると、広川町は国語が105点、算数が106点、理科が107点で、いずれも全国・県の平均を上回っており、良好な結果でした。

中学校の結果は、平成30年度以降は全国平均を少し下回っています。標準化得点で見ると、国語が98点、数学が94点、理科が96点で、いずれも全国・県平均を上回ることができませんでした。特に、数学に課題が見られます。

## 学習状況調査

学力調査と同日に、学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面などについて、小学6年生と中学3年生を対象に、69項目の調査がありましたので、結果の一部をご紹介します。

## 学力と学習状況の関係

学力調査と学習状況調査の結果から、学習状況調査の各項目で、高い割合を示している児童生徒ほど、学力も高いという結果が報告されています。広川町でも同様の傾向が見られました。特に、学力の差が大きく見られたのは次の項目です。

- ・朝食を毎日食べている
- ・毎日同じ時刻に寝ている
- ・毎日同じ時刻に起きる
- ・携帯電話やスマホ、PCの使用について、家族と約束したことを守っている
- ・携帯電話やスマホを使ったゲームをしている
- ・難しいことでも失敗を恐れず挑戦する

## 生活習慣の改善で学力向上

子どもたちの「確かな学力、豊かな心、健やかな体」を育成するためには、「規則正しい生活習慣の確立が必要」です。また「読書の時間を設けること」や「ゲーム、スマホなどの使用を短時間で終わらせること」「子どもたちの探究心を尊重してあげることで、学習意欲を向上させること」も学力向上につながります。

家族でよく話し合い、家庭内でのルールを作り、改善策を探りながら、規則正しい生活環境を整えましょう。



▲タブレット端末を活用した学習

表 学習状況調査の結果  
児童数・生徒数の割合（ ）内は全国平均との比較

	全国平均を上回ったもの		全国平均を下回ったもの	
小学6年生	朝食を毎日食べている	85.7% (+0.8%)	人が困っているときは、進んで助ける	41.3% (-3.6%)
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	44.4% (+3.7%)	先生は、よいところを認めてくれると思う	36.0% (-10.3%)
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	63.0% (+6.2%)	いじめはいけないことだと思う	81.0% (-2.9%)
	将来の夢や目標を持っていますか	67.7% (+7.3%)	学校に行くのは楽しい	47.1% (-4.6%)
	困りごとや不安を大人に相談できる	47.6% (+12.1%)	自分と違う意見を考えるのは楽しい	24.3% (-6.1%)
	友達と協力するのは楽しい	77.8% (+5.2%)	計画を立てて勉強をする	23.8% (-3.7%)
	平日、家で1時間以上勉強する	67.2% (+7.8%)	新聞を週に1~3回読んでいる	10.1% (-3.7%)
	読書は好き	53.4% (+11.5%)	難しいことでも、失敗を恐れず挑戦する	66.6% (-9.5%)
	地域の行事に参加している	41.8% (+18.4%)	5年生までに、ICTを週1回以上活用した	66.6% (-9.5%)
	地域の大人に、勉強やスポーツを教えてもらう	23.8% (+8.7%)	学校の調べ活動で、ICT機器を週1回以上使用した	66.6% (-9.5%)
中学3年生	携帯電話、PC等の使い方について家の人との約束を守る	37.4% (+5.2%)	自分と違う意見について考えるのは楽しい	26.3% (-5.1%)
	将来の夢や目標を持っている	46.2% (+6.4%)	計画を立てて勉強をする	12.3% (-3.1%)
	人が困っているときは、進んで助ける	45.6% (+5.0%)	家に100冊以上の本がある	24.0% (-9.5%)
	いじめはいけないと思う	82.6% (+2.2%)	読書は好き	34.5% (-3.4%)
	困りごとや不安を大人に相談できる	35.7% (+3.2%)	地域の大人に、勉強やスポーツを教えてもらう	16.9% (-4.2%)
	人の役に立つ人間になりたい	78.4% (+4.9%)	地域や社会をよくするために何をすべきか考える	5.8% (-5.3%)
	平日、家で1時間以上勉強する	76.0% (+6.5%)	新聞を読んでいる	6.5% (-2.9%)
	平日、全く読書をしていない	43.9% (+4.9%)	授業は自分に合った教え方、教材、学習時間になっていた	74.9% (-0.4%)
	自然の中で遊び観察することがある	31.6% (+10.3%)	話し合う活動で、自分の考えを深めたり広げたりできている	28.7% (-5.4%)
	地域の行事に参加している	19.9% (+5.6%)	平日、ICT機器を1時間以上勉強に使う	※ 12.3% (-5.4%)

※ ICTについては、昨年度の取組調査のため、導入以前からの回答になることをご理解ください。